

令和6年 8月 15日

大河原町議会議長 岡 崎 隆 殿

文教厚生常任委員会

委員長 佐藤 巖

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1. 開催の日時 令和 6年 7月23日(火)
 13時30分から16時30分
2. 開催の場所 説明：庁舎委員会室
 視察：仙南クリーンセンター及び仙南最終処分場
3. 出欠委員の氏名 佐藤 巖 大沼 常次 秋山 昇 山崎 剛
 出席委員 丸山 勝利 中村 淳

 欠席委員 佐藤 暁史
4. 説明のため出席 町民生活課 課長 佐々木 玲子
 した者の職氏名 課長補佐 鈴木 浩
 係長 伊藤 貴之
 町委託一般廃棄物収集運搬業者
 (有) コーセイサービス 代表取締役 吉野 康行 氏
5. 議会事務局の出 議会事務局長 木村 武俊
 席職員の職氏名 同 局長補佐 大島 奈緒美
 同 主事 佐藤 邦彦
6. 所管事務の調査事項
 (1) 町のゴミ収集の現状と課題について
 (2) 仙南クリーンセンター及び仙南最終処分場の視察

7. 調査の内容

(1) 町のごみ収集の現状と課題

【町民生活課担当者説明】

① 大河原町のごみ搬入場所

・仙南クリーンセンター ・仙南リサイクルセンター ・高良

② ゴミの集積所とごみの量

町内の集積所は505か所（3月末現在）

年間のごみの量 □燃やせるごみ 4,232 t

 □資源ごみ 931 t

 □燃やせないごみ 148 t

③ ごみ収集運搬業務委託

令和6年度から令和8年度までの3年間 業者名 (有)コーセイサービス
委託金額 2億2千万円

④ ごみの収集方法

町内を4つのコースに分け、各コース110から140か所の集積所から
ごみを収集している。

⑤ その他の取り組み

1) リサイクルステーションでの衣類、小型家電類の回収事業
(令和5年度実績85,470kg)

2) 集団資源回収 5年度実績:29団体、補助額73万円

3) 電気式生ごみ処理機購入補助事業 5年度は5機補助

(2) ごみ回収委託事業者からの話 ((有)コーセイサービス 吉野社長)

- ・ 町民から「収集車がいつもの時間に来ない」等の苦情が来ているが、行政には町民に8時30分までにはごみを出すように周知徹底してほしい。
- ・ ごみ集積所の場所については、一部、狭い交差点の角にあったりすると、他の自動車の往来に支障があるため集積所の場所の改善を求めたい。これまで、通行車両の方からクラクションを鳴らさったり、降りてきて叱られたりすることがあった。
- ・ 町と業務委託を始めて、この間、ごみ集積所は年々増加している。現在、人件費や燃料費、車両維持費等の経費が高騰しており経営を圧迫している。
- ・ ごみ収集に使用している車両は大河原町分では8台用意している。これらの車両の耐用年数は5年程度であるため、契約年が3年では採算が合わない。せめて契約年数を5年になってくれることを願っている。

(3) 質疑

- ① 町民からのクレームはどこに来るのか？役場か業者の方か？どのくらいの頻度でクレームがあるのか。

A 町民からの問い合わせは役場に来る。年間数件程度である。(町民生活課)
お盆とか5月の連休後はごみが大量に発生するので、ゴミ収集車はいつもの回収時間と違う時間に回収するときがある。そういった場合に町民からの問い合わせが来ることが多い。(業者)

② 町内のごみ集積所には、指定された区民しかごみを捨てることはできないはずであるが、集積所の場所によっては他の区民が捨てていく場合があるようだ。

ごみ集積箱には、そのことを明示したステッカーなどを掲示しているものがあるが、町内全体ではどのようなになっているのか。

A 区長からステッカーの要望があった場合のみ渡している。(町民生活課)
角田市のある行政区のごみ集積箱には鍵付きがある。鍵の番号は指定の区にだけ知らせているということで、他からのごみの搬入を防ぐ目的で行っているようだ。(業者)

③ 今回のごみ収集業務委託については、落札業者の「辞退」を受けて、これまで業務委託を引き受けてきた(有)コーセイサービスさんが、入札金額を下回る金額で3年間の業務委託を引き受けていただくことになった。行政として今後の改善の方針はあるのか。

A 現在、検討中である。(町民生活課)

④ ごみ収集業務委託は本町の場合、競争入札で決定しているが、他の市町はどのようなになっているのか。また、契約年数を現行の3年から5年に変更することは考えているか。

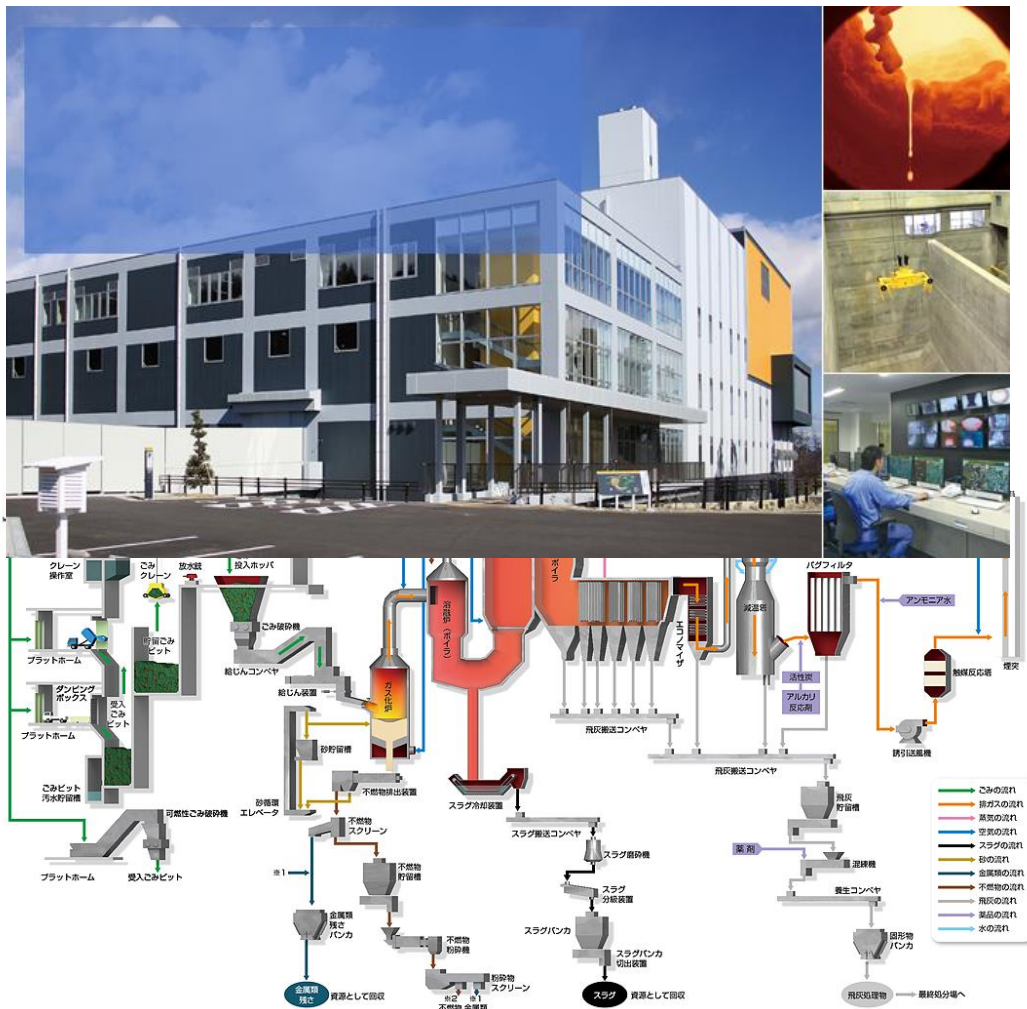
A 柴田町は収集コースごとの随意契約をしている。角田市は昨年までは随意契約だったが、今年度から入札制度に切り替わった。
契約年数に関しては、今後の検討課題である。

⑤ 各家庭から排出される生ごみの減量を図るための方策としてと、コンポストや電気式生ごみ処理機購入への補助制度があるが、予算的にはどうなっているのか。

A 例年の実績から5台分の予算を立てている。

8 視察

(1) 仙南クリーンセンター



(2) 仙南最終処理場



9 まとめ

- (1) 令和6年度から8年度の町ごみ収集業務委託の入札については、落札者からの「辞退」の申し出により、次点で落札に至らなかった現業務委託をしていた（有）コーセイサービスさんが落札金額で引き受けてくれて事なきを得たが、今後に入札の仕方、契約書の問題等大きな課題を残した。
- (2) 業務委託業者からは、落札者の辞退により町からの依頼で業務委託を引き受けたものの、落札者の入札金額では経営的には大変厳しいという話があった。検討を要する課題である。
- (3) 町民からの問い合わせに対しては、町民生活課と業者側とで連絡を密に行うべきと思う。業者任せにせず、町が主体性を持って業務にあたってもらいたい。
- (4) 町のごみの量は年々減少しているとの説明であったが、更に推し進めていくには、コンポストやごみ処理機の購入補助事業を拡充すべきと思う。